

会議録【概要】

日時：令和5年6月29日（木） 15：30～17：00

会場：岩手県立宮古北高等学校 大会議室

会議名：令和5年度岩手県立宮古北高等学校 第1回学校運営協議会

進行：鈴木明宏（宮古北高等学校／副校長） 記録：舘洞真奈実

出席者：【学校運営協議会委員】高橋敦氏（宮古市立田老第一中学校校長）、齋藤清志氏（宮古市田老総合事務所 所長）、小向広幸氏（三陸鉄道株式会社運行本部運行部運転課長）、早川輝氏（NPO 法人みやっこベース理事長）、藤田恵氏（田老福祉センターセンター長）、加藤洋一郎氏（加藤昇一商店店主）、前田宏紀氏（JF たろう参事）、田中和七氏（田老地区復興まちづくり協議会会長）、佐藤禎信（宮古北高校校長）、鈴木明宏（宮古北高校副校長）、中屋眞知子（宮古北高校事務長）

※【オブザーバー】藤倉琢哉、昆野健一、村上和隆、柴田俊浩、吉田実（宮古北高等学校）

【次第及び主な発言】

1 開会

2 学校長挨拶

3 出席者自己紹介

4 学校概況説明

5 協議・情報交換

（1）地域連携について

- ・放課後生徒会活動（地域ボランティア活動）

副校長 放課後生徒会活動でボランティア内容を募集しているが、学校に求めることがあれば伺いたい。

①避難所や避難経路の草取りはどうか。いつでも避難できるように。

②新ハザードマップを参考に避難場所を確認しつつ、道路異変のチェックをしてくれるとありがたい。

③三鉄ができることがあれば互いのPRのためにも仰ってください。

④1日1時間の活動だけでなく、「毎週〇曜日1時間」等になると活動内容の幅を広げられるのではないか。

⑤地域を担う人材の育成として、若い世代が地域に愛着を持てる取組をしてほしい。ボランティアを通して生徒がどんな感想を持ったのか知りたい。

⑥トークフォークダンスに参加したが、生徒のコミュニケーション能力には個人差が大きいことから、コミュニケーション能力が低い子は募集に手を挙げないのではないか。シルバー人材センターを参考にしてみてはいかがか。災害公営住宅の近辺に高齢者が集まっているところがある。そこで、話し相手になることもいいかもしれない。

⑦田老大漁まつりのボランティアありがとうございました。8/12 花火大会の出店補助を依頼するかもしれない。和太鼓を演奏し、イベント発表してみたいはいかがか。

⑧北高は避難所になっているので、訓練の時の運営の手伝い等はいかがか。

（2）令和7年度以降の岩手県立高等学校入学者選抜について

※入試に関わる部分であり開示なし

6 質疑応答・学校運営協議会委員助言

①搬送で活躍できる避難所の運営をしていただけるとありがたい。

②新採用を募集しています。

③学校楽しい？と質問すると「Yes」と答える生徒が多く、リスタートをする生徒が過ごしやすい環境にあることは大変良いことだが、社会に出られるように力強い子を育ててほしい。

④福祉センター活動ご協力ください。

⑤地域内で人間関係を広げ、コミュニケーション能力を育ててほしい。

- ⑥ボランティア活動を通じた自己有用感が今後の人生につながっていくと思う。少人数の学校だからこそ、先生の目を行き届き、一人ひとりの役割も多いのだろうと思う。
- ⑦田老の人口は減少しつつあり、高齢化も50%近い。若い人を呼ばなければならないが、アイデアが浮かばない。北高生に見学してもらい、どうすれば若い人が集まるかイベント企画に意見がほしい。
- ⑧学生が関わることで田老に元気を与えてほしい。

7 その他

閉会